

対面 & WEB配信(LIVE)
参加費無料

久留米大学 バイオ統計センター 公開セミナー

坂巻顕太郎

横浜市立大学大学院
データサイエンス研究科
特任准教授



ベイズ流アプローチによるヒストリカルデータの利用

FDAは、Complex Innovative Trial Design Pilot Meeting Programにおいて、ヒストリカルデータの利用に関する議論をしている。また、Real-World DataやReal-World Evidenceに関するガイドラインの中でもヒストリカルデータの利用に関して言及している。EMAもこのような議論を活発に行っており、統計的にヒストリカルデータをどう扱うかを理解することの重要性は上がっている。ヒストリカルデータを利用する際の統計手法としては、ベイズ流アプローチによる情報の利用、プロペンシティスコアを用いた群間比較が考えられる。ベイズ流アプローチは、大きく、power priorと階層モデルの2つの方法に分けられる。これらの手法に関する総説「臨床試験におけるヒストリカルコントロールデータの利用」が2015年に計量生物学に出ている。近年は、さらにプロペンシティスコアをベイズ流アプローチアプローチのもとでどう用いるかの議論が活発化している。本セミナーでは、ベイズ流アプローチの基本を説明するとともに、近年の話題を紹介する。

2022年5月26日(木) 18:00-19:30

久留米大学バイオ統計センターコンピュータ室 (医学部 B棟7階)

申込方法

WEB配信は、下記URLまたはQRコードより、前日10時までに
お申込みください。

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZUocOmgrjgqHd0ket438UdanB33auxmA2dJ>

お問い合わせ

久留米大学バイオ統計センター公開セミナー係
✉ biostat_seminar@med.kurume-u.ac.jp

